

# 清須市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 令和5年度実施状況報告

## 1 計画概要

本市が行う全ての事務事業について、2030（令和12）年度までに、温室効果ガス排出量を2013（平成25）年度比で46%削減を目標とし、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を実施する。

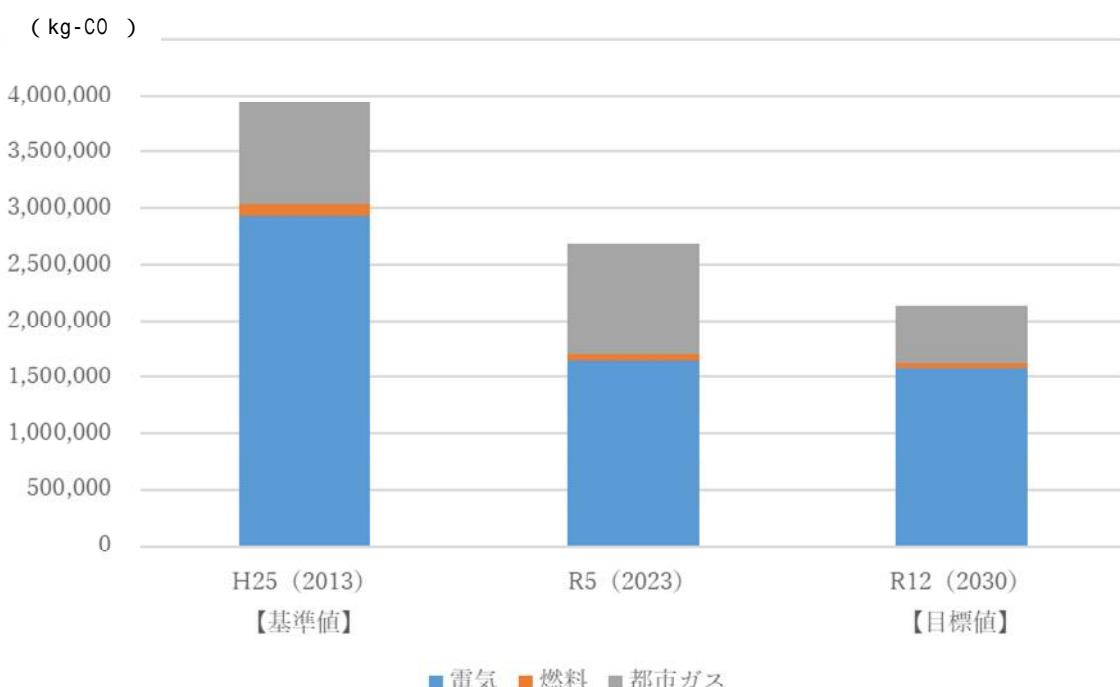
## 2 温室効果ガス排出状況

令和5年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度と比べ、32.0%減少した。温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を引き続き実行していく。

エネルギー別温室効果ガスの排出量

項目	基準年度 2013(平成25)年度	実績 2022(令和5)年度	削減率 基準年度比	目標削減率 基準年度比
温室効果ガス 総排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	3,952,826	2,687,865	-32.0%	-46.0%
電気 (kg-CO <sub>2</sub> )	2,933,725	1,651,245	-43.7%	-45.0%
燃料 (kg-CO <sub>2</sub> )	99,920	50,541	-49.4%	-60.0%
都市ガス (kg-CO <sub>2</sub> )	919,181	986,078	+7.3%	-44.5%

エネルギー別温室効果ガスの排出量



### 3 主な取組内容

---

#### 省エネルギーの推進

- ・春日公民館大ホール特定天井等改修工事に伴い天井照明をLEDに改修した。
- ・五条川防災センター新築工事は、低公害型建設機械の利用に努めた。
- ・職員に夏期はクールビズ、冬期はウォームビズを推奨し、冷暖房の状況にあわせて服装を変えて、電気使用量等の削減に努めた。

#### 省資源の推進

- ・アイドリングストップ、急発進・急加速を行わず、経済運転を励行した。
- ・みずとぴあ庄内は、節水栓にするなど水量を調節した。
- ・清須市学校給食センターでは、雨水利用設備を活用しトイレ等の雑用水として使用し水道使用量を削減した。

### 4 増減要因等

---

令和5年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度に比べて32.0%減少した。

電気自動車の購入等を逐次勧めていくことで燃料使用による温室効果ガスが減少している。

施設の省電力化を逐次進めていくことにより電気使用量の削減が推進された。

### 5 評価及び今後の取組

---

電気自動車の導入、LED照明の導入等、計画の取組を引き続き実行していく。また、再生可能エネルギー設備の導入、排出係数の低い電力の使用等を推進することにより、目標設定に向け、さらなる温室効果ガス排出量の削減に努める。